

1.評価対象事務事業		シート作成日	平成25年7月19日
事業名	美化キャンペーン事業	担当課・係名	環境美化センター 環境係
総合計画実施計画事業 (認定番号・事業名)	—	事業番号	6
行革大綱実施計画事業 (細目コード・事業名)	—	事業開始年度	昭和51年度

2.事業の概要

目的 (何のために)	美化意識の啓発と高揚を図り、清潔で住みよい環境を確保する。				
対象 (誰を・何を)	全町民				
内容	美化意識の啓発と高揚を図ることを目的に、町内全域で町ぐるみ美化キャンペーンを実施する。				
根拠法令・条例等	—				
執行体制	<input checked="" type="checkbox"/> 町職員実施 <input type="checkbox"/> 一部委託あり <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> その他				
	単位	平成23年度 (決算)	平成24年度 (決算見込)	平成25年度 (予算)	
事業費	直接事業費 (a)	千円	291	507	439
	国庫支出金	千円			
	県支出金	千円			
	起債	千円			
	その他	千円			
	一般財源	千円	291	507	439
	職員人数 (概算職員数)	人			0.18
	人件費計 (b)	千円			1,103
総事業費 (a)+(b)	千円	291	507	1,542	
事業費内訳	○ 町ぐるみ美化キャンペーン消耗品費 286千円 ○ 町ぐるみ美化キャンペーン参加者傷害保険料 153千円				
H 25 年度					

3.指標値の推移

各種指標の実績と見込み、目標 (指標名)		単位	平成23年度 (実績値)	平成24年度 (実績値)	平成25年度 (見込み又は計画値)
対象指標 (対象者数等)	① 全町民	人	32,791	32,587	32,625
	②				
活動指標 (活動量)	① 美化キャンペーン収集ごみ量	kg	荒天中止	16,750	16,600
	②				
成果指標 (達成度等)	① 美化キャンペーン参加人数	人	荒天中止	4,431	4,711
	②				

4.事務事業の評価

妥当性	・実施主体は妥当か	理由	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当 <input type="checkbox"/> おおむね妥当 <input type="checkbox"/> 変更の必要あり <input type="checkbox"/> その他 町民が主体となり、事業者と行政とが協働で実施している。
	・実施手段は妥当か	理由	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当 <input type="checkbox"/> おおむね妥当 <input type="checkbox"/> 改善の必要あり <input type="checkbox"/> その他 ごみゼロ（5月30日）に合わせて、県内の他市町村においても海岸を中心に実施している。
成果	・意図した成果が得られているか。	理由	<input checked="" type="checkbox"/> 得られている <input type="checkbox"/> おおむね得られている <input type="checkbox"/> 得られていない <input type="checkbox"/> その他 参加人数の増加により、美化意識の高揚が図られている。
効率性	・コストに対して効率的か	理由	<input type="checkbox"/> 効率的 <input checked="" type="checkbox"/> おおむね効率的 <input type="checkbox"/> 非効率 <input type="checkbox"/> その他 各地区と町内団体、町内清掃事業者の協力により実施している。
	・コストの削減等を図ったか	理由	<input type="checkbox"/> 図った <input type="checkbox"/> 図られていない <input checked="" type="checkbox"/> 図る余地は無い <input type="checkbox"/> その他 ごみ袋購入費用と参加者の傷害保険料のみで実施している事業であり、これ以上の経費削減は見込めない。
担当課による評価		<input checked="" type="checkbox"/> A 妥当性、成果、効率性はおおむね良いが、改善の余地がある <input type="checkbox"/> B 事業の一部見直しが必要 <input type="checkbox"/> C 事業の抜本的な見直しが必要 <input type="checkbox"/> D 事業継続の必要性が低い（休止・廃止）	評価理由 町内の地区、団体、事業者、行政が協働で実施する事業である。年間行事として定着しており、環境意識の啓発、高揚を図る事業として必要である。

5.改革・改善の方向性（平成 26 年度以降）

① 改革・改善への取り組み	開催日が5月下旬で夏日となることが多いため、町民の健康管理という観点から、開催時間の短縮を検討する必要がある。
② 平成26年度に着手する事項	開催時間の短縮と実施場所集約の検討を行っていく。
③ その他（課題、調整事項等）	ごみ処理広域化に伴い、平成26年度から収集したごみを平塚市次期環境事業センターへ持ち込むことになるため、搬入時間帯を平塚市と調整したうえで、開催時間帯を設定する必要がある。また、平塚市の処理に合わせて、現在収集しているプラスチックごみの廃止についても、平塚市との調整が必要となる。

6.平成26年度事業への取組み状況（改善内容等）

町民の健康管理という観点から、開催時間を短縮して実施する。また、ごみ処理広域化に伴い、平成26年度から収集したごみを平塚市のごみ処理施設へ持ち込むことになるため、平塚市のごみ処理施設に合わせ、分別方法を変更する。
--